

令和7年度 壬生町防災講演会アンケート結果

(令和8年2月17日)

(108名 回答)

1 実際に大規模な災害が発生した場合、どの様なことを不安に感じますか。(複数選択)

1	家族との連絡手段	52件
2	一時避難所先の確保	34件
3	自宅の耐震性	50件
4	避難所での生活	59件
5	食料・常備薬	46件
6	電気・ガス・水道	72件
7	特になし	0件
8	その他 (要支援者の対応、トイレ、 避難所の収容人数の不足)	3件

2 様々な災害に備え、日頃からどの様な対策を取っていますか。(複数選択)

1	防災について家族で話し合いをしている	44件
2	災害時どこに避難すればよいか知っている	89件
3	災害に応じた避難場所まで安全な避難ルートを複数確認している	35件
4	毎年、地域の防災活動に参加している	66件
5	近所の人と交流し、非常時のことについて話をしている	23件
6	特に取り組んでいるものはない	6件
7	その他	2件

3 備蓄品について伺います。

1	備蓄食料					
備蓄している (73件)		1日	7件	4日	2件	備蓄していない (28件)
		2日	10件	5日	3件	
		3日	34件	7日以上	17件	
2	保存水					
備蓄している (79件)		1日	7件	4日	1件	備蓄していない (25件)
		2日	8件	5日	4件	
		3日	36件	7日以上	19件	
3	持ち出し袋					
準備している (47件)			準備していない (44件)			

4 災害発生直後の災害対応（救助・がれきの撤去など）をどの団体や人に期待しますか。（複数回答者あり）

1	自主防災組織（自治会）	73件
2	消防署	31件
3	消防団	33件
4	近所の人	53件
5	友人（ボランティア）	12件
6	職場の人	0件
7	特になし	3件
8	その他（自衛隊・町）	2件

5 その他の意見

1	パワーポイントの貴重な資料を作成頂き大変参考になった。こうした資料を広く有効活用することが肝心です。消防業務に携わった経験からの分かりやすい話であった。身近なテーマにも触れていただきありがたい。無駄のない密度の高い内容であった。
2	自主防災組織がなかなかできない。とりあえず安否確認だけでもできるようにしたいと思います。
3	自治会と自主防災会は一体化していないと機能しないと思います。自主防災会よりも自治会づくり（参加率の向上、活動の充実化）が大切と認識しました。 防災は、まず「自助」これが出来なければ「共助」もない事が良く分かった、防災士も「自助」の上に「共助」に向かうべきと理解しました。
4	とても分かりやすい説明であり重要なポイントを良く理解することが出来た。 100年位のスパンで考えると、壬生町は災害リスクの少ない地域と言えるかも知れないが、もっと最悪のシナリオを想定して防災意識を高める事が重要でないでしょうか。
5	事後の具体的な対応が分かり大変良かった。

6	講師の言われる通り、自治会の問題は防災に限らず「共助」の考え方、取組みについて例えば外国の良い例なども、取り組み必要があるのでは。
7	自助の重要性と、地域住民の協力体制が大切である。 命を守る重要性、(建物の耐震化、家具の転倒防止、火災を出さない、初期消火)
8	話が具体的でわかりやすかった。まず「自助」少しずつ取り組んでいこうと思います。
9	避難所は、壬生小学校となっているが小学校との連携が普段取れていないので、協力体制に不安を感じる。
10	避難所では一週間以内にルールを作ること、避難者名簿を作ることが特に心に残りました。
11	良い話が聞けて良かった。数年前から防災講演会を聞いてその内容を自治会役員会にて紹介してきた結果、独自の自主防災組織の発足を総会に提案できるまでになった。気づき意識付けに必要と思う。
12	「自助力」を増やし「公助力」の負担を減らす。今日の防災講演会の話聞いて勉強になりました。参加して良かったです、ありがとうございました。
13	年に一回自治会内で防災訓練を実施していますが、自治会内での回覧板を通して災害時の避難場所やルート、避難所での生活となった場合、場所を確保できるのか、食料や飲料水、トイレなどどの様な状況となるか、伝達しコミュニケーションを行っていく事が重要だと思います。 高齢者が独居の場合、避難する際の的確な配慮することも必要であり地域内の役割分担交流を図ることが大切であると思います。 災害以外でも、定期的な安否確認も行う必要もあるのではないのでしょうか。自主防災組織の重要性も大変よく理解できました。参加できて良かった。
14	防災組織において、毎年安否確認訓練と炊出し訓練を行っています。自治会の会員にこだわらず参加者を募って地域防災の重要性を知らせるようにしている。在宅避難を前提に備えを自治会の住民には伝承している。
15	計画を立てて防災準備をすることが必要だと感じた。
16	自治会内での防災意識を高めていく手段は？ 安否確認や防災訓練を実施しても「自治会役員だから、とりあえず」のような姿勢でしかない。 平穏な地域で大きな災害を経験していないから、「ウチは大丈夫」の意識が強すぎる。

17	とても分かりやすく、説得力のある素晴らしい講演会でした。防災士に限らずもっと多くの方に聞いてほしい内容でした。普段から不要な家具や物を減らす、片付ける、燃えやすいものを減らすなど大事だなと思った。水や電気が止まった時の対策、非常食の備蓄など「自助力」を高め準備を改めて見直したいと思いました。
18	昨年転居したので、地域のこと防災について学びに来ました、ありがとうございます。
19	災害リスクの極めて少ない壬生町で防災に重点を置いて理由を明確にして、防災活動を進めたい。
20	色々な事例を交えて説明いただいたので分かりやすかった。避難所では様々な問題があり、環境整備は急務だと思いました。
21	災害を無くすことはできない、しかし災害があった時の対策は自治会として、会員に自覚して何をしたら良いかあらかじめ知っておかなければならないと思った。
22	一時避難所でのトイレが心配、全国からトイレカーや仮設トイレを被災地へ運び、安心してトイレに行けるよう環境をおねがいしたい。
23	大変有意義な講演でした。ますます自治会として役割の大切さを再確認した。
24	防災士を増やすことで、防災に対する意識付けを高めて行くことになると思います。 壬生町単独で防災士受験を実施してほしい。
25	統計的な資料をご説明いただきとても勉強になった。 平時、有事の自主防災組織の取り組み方の確認ができた。参考になった事、学びがあった。避難所の運営の難しさを再認識した。
26	町全域が水害の危険がある事を認識した方が良い。ハザードマップが逆に安心マップになっている。 町は、避難所運営についての指導が大切。
27	防災に関して色々ご教授いただきありがとうございます。防災士として参考にしていきたいと思います。
28	壬生町は災害の少ない自治体と言われておりますが、災害（特に地震）はどこで、いつ、起こるか分かりません、過去の地震被害状況等、講演会で見せられますと、日頃の防災の大切さがいかに大切か、改めて考えさせられました。
29	防災活動は奥が深いです。高齢者の身なり迷惑を掛けないためにも、参加して見分を広げたい。

30	自主防災組織を立ち上げ、防災行事を年2回実施していますが住民の参加が少ない。高齢化が問題。とても良い講演会でした。参加して良かった。
31	初期の「自助」「互助」がスムーズに行くように友人たち（近所）との情報の共有に努める。もう一度防災について考える参考になった。
32	公助に頼らず、自治会による活動の必要性を強く感じました。
33	大変参考になる講話ありがとうございました。災害が起きてから地域の人々を助けるには、そこに住んでいる人々だということが分かりました。そのためには地域の人々のつながりはとても大切だと感じました。普段から地域の人々とのつながりをどの様に築いていくか考える必要があると思いました。
34	参加された方が高齢の方が多く、平日のせいかわい人の参加が少ない、今後の担い手が心配。災害が少ないだろうと思い壬生町に住んでいる方が多く、防災という意識をあげていく必要がある。近所付き合いの大切さ、さらに自助力かと思う。